



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月2日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
コード番号 3900 URL <https://crowdworks.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 浩一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 月井 貴紹 (TEL) 03(6450)2926
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	12,409	28.1	5,693	25.6	1,070	30.4	1,341	32.7
2023年9月期第3四半期	9,690	24.6	4,531	29.0	820	△7.0	1,010	5.5

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 732百万円 (24.4%) 2023年9月期第3四半期 588百万円 (△2.3%)

	経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
2024年9月期第3四半期	1,150	29.9	705	18.2	45	43	45	06
2023年9月期第3四半期	886	0.9	597	△0.6	38	88	38	17

※EBITDA (Non-GAAP) は、財務会計上の数値 (GAAP、日本基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
2024年9月期第3四半期	11,694		7,051		57.1	
2023年9月期	9,995		6,039		57.9	

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 6,671百万円 2023年9月期 5,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—			
2024年9月期（予想）				18.00	18.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2024年8月2日）公表いたしました「2024年9月期配当予想の修正（初配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	15,860	20.1	7,370	20.0	1,270	10.1	1,570	10.5	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 4社 (社名) 株式会社グルト、株式会社ユウクリ、株式会社蒼天、株式会社AI tech、除外 1社 (社名) 株式会社グルト

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	15,557,760株	2023年9月期	15,509,960株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	154株	2023年9月期	124株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	15,534,986株	2023年9月期3Q	15,358,202株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、国内経済の正常化が進み、景気回復の兆しが見られています。一方で、資源価格の高騰や物価上昇などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

労働市場においては、社会全体の人手不足が深刻化し、企業は人材確保の課題に直面しています。その影響で若手社員に対する人的投資を増加するなど、従来の終身雇用・年功序列を主とした労働構造に変化の兆しがあります。これを受け、個人の自律的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方が加速すると見られます。

政府としても、賃金上昇を伴う円滑な労働移動の重要性を掲げ、法制度の整備を推進しています。一例として、フリーランスを企業と同じ「独立した意思のある存在」として認める「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」が2024年11月に施行される見込みであり、フリーランスを始めとする多様な働き方がより推奨される社会が実現されようとしています。

このような社会・経済環境のもと、当社グループは「個のためのインフラになる」をミッションに、「世界で最もたくさんの人に報酬を届ける会社になる」をビジョンに掲げ、マッチング事業を基幹として人材流動化を促進し、日本の企業の生産性向上を支援しています。昨今の状況は当社グループにとって追い風であり、2024年6月末時点で登録ユーザー数は654.8万人（前年同期比+79.1万人）、登録クライアント数は99.0万社（前年同期比+7.3万社）となりました。また、中期経営目標「YOSHIDA300」において掲げる、売上高300億円、EBITDA（Non-GAAP）25億円、営業利益成長率+10%以上（通期ベース）の実現に向け、既存事業の成長並びにSaaS事業を含む新規事業の拡大、M&Aに引き続き注力してまいります。

既存事業の主軸であるマッチング事業においては、企業が人材獲得競争激化の一方で柔軟な人材ポートフォリオ構築を迫られていることを受け、当社は既存のエージェント事業を統合し、企業の人材課題解決の窓口を一本化する「クラウドワークスエージェント」を開始しました。かねてより推進していたアカウントセールス体制を事業・組織改革によって強化するとともに、ブランド認知効率やマーケティング効率の向上に努めます。前四半期より開始したコンサルティング事業とともに、1社あたりの契約単価上昇を促進してまいります。

ビジネス向けSaaS事業においては、今般の人的資本経営の機運の高まりにより、従業員の工数を可視化する生産性向上SaaS「クラウドログ」の導入が大企業や成長企業を中心に進んでいます。また、2024年4月にAI SaaS事業「オーダーメイド AI（現クラウドワークス AI）」を有する株式会社AI techを子会社化いたしました。企業向けのAI SaaSやAIリスティングなど、生成AIを活用してワーカー・クライアント双方を支援する新たな事業展開を行い、事業ケイパビリティの拡大とGMV（流通取引総額）の増大につなげてまいります。

M&Aにおいては、当社のマッチング事業及びビジネス向けSaaS事業との親和性が高い事業への投資について、規律をもって進めています。また、M&A後の企業の経営改善はPMIにより順調に推移しており、全社の成長に貢献しています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高12,409,943千円（前年同期比28.1%増）、売上総利益は5,693,015千円（前年同期比25.6%増）、営業利益は1,070,280千円（前年同期比30.4%増）、EBITDA（Non-GAAP）は1,341,528千円（前年同期比32.7%増）、経常利益は1,150,741千円（前年同期比29.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は705,702千円（前年同期比18.2%増）となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

取引額の総額を示すGMV（流通取引総額）は20,598,508千円（前年同期比21.6%増）、売上高は11,790,489千円（前年同期比25.9%増）、売上総利益は5,086,709千円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益は1,077,877千円（前年同期比10.2%増）となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

売上高は531,403千円（前年同期比80.0%増）となり、セグメント損失は69,336千円（前年同期のセグメント損失は187,783千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は11,694,147千円となり、対前期末比で1,699,126千円増加いたしました。流動資産は対前期末比で620,809千円の減少となり、その主な内訳は、現金及び預金が1,018,259千円減少したものの、売掛金が264,984千円増加したものであります。固定資産は対前期末比で2,319,936千円の増加となり、その主な内訳は、のれんが618,892千円及び投資有価証券が1,702,827千円増加したものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は4,642,184千円となり、対前期末比で686,219千円増加いたしました。流動負債は対前期末比で594,019千円の増加となり、その主な内訳は、短期借入金が291,678千円減少したものの、未払金が91,893千円、未払法人税等が250,195千円、契約負債が154,197千円、預り金が121,980千円増加したものであります。固定負債は対前期末比で92,199千円の増加となり、その主な内訳は、長期借入金が86,365千円増加したものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,051,963千円となり、対前期末比で1,012,907千円増加いたしました。純資産の増加の主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益705,702千円の計上、株式発行に伴い資本剰余金が188,693千円および新株予約権が54,407千円増加したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月9日付に公表いたしました配当予測を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2024年9月期配当予想の修正（初配）に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,734,898	4,716,638
売掛金	1,100,600	1,365,585
未収入金	971,553	965,350
その他	116,813	250,744
貸倒引当金	△20,254	△15,517
流動資産合計	7,903,611	7,282,801
固定資産		
有形固定資産	62,815	49,079
無形固定資産		
のれん	1,239,952	1,858,845
その他	10,290	2,776
無形固定資産合計	1,250,243	1,861,622
投資その他の資産		
投資有価証券	262,907	1,965,734
その他	521,796	541,723
貸倒引当金	△6,352	△6,813
投資その他の資産合計	778,351	2,500,644
固定資産合計	2,091,409	4,411,346
資産合計	9,995,020	11,694,147
負債の部		
流動負債		
短期借入金	533,716	242,037
未払金	1,028,110	1,120,003
未払法人税等	127,167	377,363
契約負債	429,884	584,082
預り金	1,227,298	1,349,278
その他	393,748	661,180
流動負債合計	3,739,925	4,333,945
固定負債		
長期借入金	163,189	249,554
その他	52,850	58,685
固定負債合計	216,039	308,239
負債合計	3,955,964	4,642,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751,307	2,776,033
資本剰余金	2,709,307	2,898,001
利益剰余金	298,273	960,544
自己株式	△169	△221
株主資本合計	5,758,718	6,634,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,690	37,258
その他の包括利益累計額合計	25,690	37,258
新株予約権	231,102	285,510
非支配株主持分	23,545	94,837
純資産合計	6,039,056	7,051,963
負債純資産合計	9,995,020	11,694,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	9,690,849	12,409,943
売上原価	5,159,232	6,716,927
売上総利益	4,531,616	5,693,015
販売費及び一般管理費	3,710,807	4,622,735
営業利益	820,808	1,070,280
営業外収益		
預り金失効益	70,083	51,196
助成金収入	—	38,047
その他	5,442	22,649
営業外収益合計	75,525	111,893
営業外費用		
出資金運用損	111	16,923
寄付金	—	8,294
その他	10,222	6,213
営業外費用合計	10,334	31,432
経常利益	886,000	1,150,741
特別利益		
新株予約権戻入益	—	11,438
特別利益合計	—	11,438
特別損失		
投資有価証券評価損	31,193	—
特別損失合計	31,193	—
税金等調整前四半期純利益	854,807	1,162,180
法人税等	269,449	440,987
四半期純利益	585,358	721,192
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,785	15,490
親会社株主に帰属する四半期純利益	597,143	705,702

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	585,358	721,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,472	11,568
その他の包括利益合計	3,472	11,568
四半期包括利益	588,831	732,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	600,616	717,270
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,785	15,490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月25日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社AI techを株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。この結果、資本剰余金が269,783千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,898,001千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	24,114千円	23,404千円
のれん償却額	47,778千円	149,717千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,570,851	3,550	1,574,401	158	—	1,574,560
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	7,791,537	291,570	8,083,107	—	—	8,083,107
顧客との契約から生じる収益	9,362,389	295,120	9,657,509	158	—	9,657,668
その他の収益	—	—	—	33,181	—	33,181
(1) 外部顧客への売上高	9,362,389	295,120	9,657,509	33,340	—	9,690,849
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35	35	—	△35	—
計	9,362,389	295,155	9,657,544	33,340	△35	9,690,849
セグメント利益又は損失(△)	978,204	△187,783	790,421	30,387	—	820,808

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、Peaceful Morning株式会社の全株式を取得し、同社を完全子会社化しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては136,965千円であります。

また、マッチング事業セグメントにおいて、株式会社シューマツワーカーの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,093,801千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,633,617	17,592	1,651,209	2,500	—	1,653,709
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	10,156,872	513,654	10,670,526	13,816	—	10,684,342
顧客との契約から生じる収益	11,790,489	531,246	12,321,735	16,316	—	12,338,052
その他の収益	—	—	—	71,891	—	71,891
(1) 外部顧客への売上高	11,790,489	531,246	12,321,735	88,207	—	12,409,943
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	157	157	—	△157	—
計	11,790,489	531,403	12,321,893	88,207	△157	12,409,943
セグメント利益又は損失(△)	1,077,877	△69,336	1,008,540	61,739	—	1,070,280

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社ユウクリの株式を取得し、同社を子会社化しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては169,016千円であります。

ビジネス向けSaaS事業セグメントにおいて、株式会社蒼天の株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては126,437千円であります。

ビジネス向けSaaS事業セグメントにおいて、株式会社AI techの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては270,698千円であります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。